

本堂改修説明会・音楽祭・連続研修会・下期収納会 等ご報告、夜座・除夜会・御正忌 等ご案内

黄金色に染まった境内の銀杏と陽の短さに、冬の訪れを知らされます。さて、9・10月に各地公民館や明行寺を会所に、本堂大屋根改修・地域別説明会が開催されました。全12回に渡ってお力添えをくださった総代役員方、建設委員、ご参加くださったみなさまに、厚く御礼申し上げます。改修計画やご懇志等の提案に貴重なご意見を頂戴し、それを踏まえて、ご門徒一戸ごとの意向調査書を行う運びとなりました。同封のご案内や議事録をご一読のうえ、何卒ご協力くださいますようお願い申し上げます。

この秋の明行寺は、読書やお茶と共に夜のご本堂に会することそのものを体験する「夜聴聞」や、第3回を数えた「うたう明行寺秋の音楽祭」（詳細は裏面行事レポートにて）、佐々木高彰先生の節談説教をお聴聞する下川東組連続研修会など、行事が目白押しでした。11月の茶話会「喫茶去・明行寺」では、柳川市西光寺の宿利宏住職による出張映画館を開催。巨大スクリーンと、5.1chサラウンドシステムでご本堂は映画館へと早替わり。洋画「最強のふたり」の美しい音楽が、今も耳に残ります。12月の茶話会は「倉永ひまわりの会」のみなさまによる大正琴の演奏・体験会を予定しております。また「なんもない夜座#2」と題して音楽の演奏会に合わせたご法座もごございます。年末年始には恒例の除夜会・元旦会をお勤めし、柏汁のお振舞い、書き初め、竹と瓢箪のあかり展もごございます。1月には、今年も親鸞聖人のご命日に御正忌報恩講をお勤めします。各ご自宅ではお取越（在家報恩講）も勤まります。お誘い合わせの上、ぜひ一緒にくださいませ。年の瀬が駆け抜けます。健康第一。健やかなお年をお迎えください。 称名



お蔭様の改修委員会



みかんのお供えに合掌



夜のお寺でまったり



東京の古書店でTALK&LIVE



佐々木先生の節談説法



夜の境内を照らす灯り



金色の絨毯をお楽しみに！



本堂が映画館に大変身

[12~1月の行事予定]

- 12月 9日(土) 13時半～ 御消息披露法要 @光徳寺 ※役員方と坊守でお参りしますが、ご希望の方はぜひ一緒に
- 12月17日(日) 8時半～ おみがき、除草作業(担当地域：四ヶ中尾)
- 12月20日(水) 14時～ お取寄せスイーツ茶話会「喫茶去・明行寺」vol.24 @明行寺 ※お申込期限：12/13(水)
- 12月22日(金) 19時～ なんもない夜座#2(サクソ/ピアノ 2組の音楽家による演奏) @明行寺 ※お申込期限：12/15(金)
- 12月31日(日) 23時半～ 除夜会・竹と瓢箪の灯り展 @明行寺 ※12/29灯籠作りもぜひ一緒に ※暖かくしてお参りください
- 1月 1日(月) 10時～ 元旦会 @明行寺 ※書き初めのご用意もごございます
- 1月 7日(日)~16(火) 瓢箪の灯り展 @明行寺 ※1/8(祝・月)14時～、瓢箪ランプワークショップ、定員:15名、お申込期限：1/5(金)
- 1月13日(土) 8時半～ お華束作り(上伍位軒、あとさん講 蓮華の会)・竹藪清掃(役員、全地域講中) ※詳細別紙でご案内
- 1月15日(月) 12時～ 御正忌報恩講@明行寺 ※12時～御齋 / 13時半～昼座 / 19時～夜座、お賄い地域：北関・飛ヶ塚、8時半～
- 16日(火) 12時～ 御正忌報恩講@明行寺 ※12時～御齋 / 13時半～御満座、お賄い地域：山川中原・山川中尾・四ヶ中原、8時半～

[住職の出張予定] 12/4 お取次 @光円寺 (大牟田市)、12/9・10 お取次 @善福寺 (大牟田市)、

12/15・16 お取次 @長栄寺 (柳川市)、1/20~23 布教大会、周年行事 @築地本願寺 (東京)

※1月はお取越し期間のため、通常の月忌参りはお休み、2月よりお勤め致します。年始は是非明行寺にお参りください。

>>裏面につづく>>

地域の演奏家5組による「第3回 うたう明行寺 秋の音楽祭」

10月の秋晴れのもと、蓮華の会主催の音楽祭が開催されました。過去最多となる5組の演奏家をお迎えし、たくさんのお客様と一緒に心も身体も揺らした一日。1組目は栗原時代さんのピアノ演奏。大切な方を思い、夜空を見上げることが多くなったエピソードと共に「きらきら星」をご披露くださいました。



2組目の堺峯子さんは、今回初のご出演。クラシックハーモニカの美しく情熱的な「ロミオとジュリエット」「北の国から」に息をのみます。3組目は輝くチャイナドレスに身を包んだ丸野明子さん&上原日文さん。瓢箪笛フルスのどこか懐かしさを感じる伸びやかな音色と、お二人の息ピッタリの掛け合いに笑顔溢れるひとときとなりました。4組目は坊守codamaによる、ご法話を織り交ぜながらのピアノの弾き語り。歌詞カードを手に、みんなでロずさみながら耳を傾けるご縁でした。大トリ5組目は古楽器オーケストラ、グループ「葦」さん。ユニークな楽器紹介やお話、厚みのあるアンサンブルで会場がひとつになり、圧巻の終演を迎えました。休憩時のお茶菓子として、南関町BAULさんが特別にご用意くださったエッグタルトも、音楽祭に欠かせない立役者です。



ご出演、ご参加、当日の運営にご尽力くださった蓮華の会のみなさまお一人おひとりのお蔭様により、本年も今ここにしかない音楽祭となりました。心より御礼申し上げます。また来年もぜひ一緒くださいませ。

コラム

「らしさというイメージに しばられて」・・・3/3

常識と偏見（続き）

偏ったものの見方がものごとを素直に考える邪魔をしてしまいます。私たちは文化的・社会的につくられた「女らしさ・男らしさ」という常識がいつの間にか刷り込まれてしまっているのです。それをジェンダーと言います。

性の違いによって、「男ならば〇〇するのが当たり前」「女は〇〇でなければならない」というように枠にはめ、さらに価値付けがされると性差別になります。例えば、男性の外科医なら有能だろうけど、女性の外科医はそれ程でもないといった具合です。「勉強が嫌いでも男だから大学くらいは行っておけ」「女なんだから短大でいい。ましてや大学院なんて行ったら嫁のもらい手がなくなる」というようなことを言われたこと、言ったことはないでしょうか。これらのことばは本人を思っていることで悪気はないのかもしれませんが、でも、「らしさ」が「こうあるべき」という考え方、つまり正しさに立った時、そうでない人に対して「〇〇のくせに」という批判に変わってしまうのです。「らしさ」ということを言われると不自由だ、縛られていると感じる人と、感じない人がいるので、ややこしい問題です。あなたはどのように感じているでしょうか。（2014年2月掲載）



>>次回、2月の「明行寺新聞」は新しいトピックです！

女と男のナムアマダブツ
藤場芳子

藤場芳子師 「女（ひと）と男（ひと）のナムアマダブツ」

1954年生まれ。真宗大谷派常讃寺副住職。解放運動推進本部「女性室」元スタッフ。同朋会館教導。真宗本廟教化教導。坊守（智美）が仏教とジェンダーについて学ばなかがご縁を賜り、ご著作から明行寺新聞のコラムに掲載している。

明行寺HP



Instagramで
お朝勤配信
（毎朝6時半～）



うたう
明行寺

公式LINE



お気軽に！